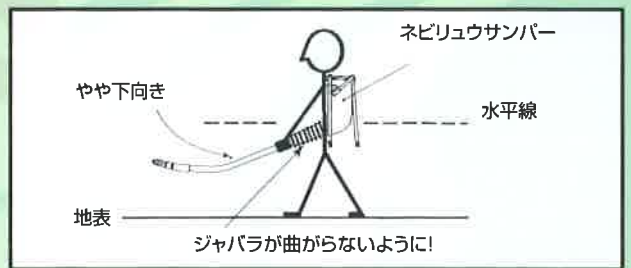


散布方法

- ① 本体布袋に「ネビリュウ®」を入れる前にネビリュウサンパーを背負い、背負いバンドの長さを調整してください。
- ② 中間パイプ、キングパイプの順に強くねじ込むように装着してください。
- ③ 目盛りリングは必ず「少」の右側まで回しきり、弁を全閉状態にしてください。
- ④ ネビリュウサンパーを降ろして3本の脚を開き、本体の安定を確認後、投入口より「ネビリュウ®」を投入してください。
- ⑤ 投入後、再度ネビリュウサンパーを背負ってください(トラックの荷台等を利用すると楽です)。
- ⑥ 散布中は右腕を押し下げるように伸ばし、先端が膝のあたりの高さで散布するようにしてください。右腕を曲げた状態で散布すると、ジャバラの部分折れ曲がり、薬剤が詰まってしまうことがあるので注意してください。
- ⑦ ネビリュウサンパーは落差と遠心力を利用しています。水平よりやや下向き(20°程度)にして左右に振るだけで均一に散布することができます。

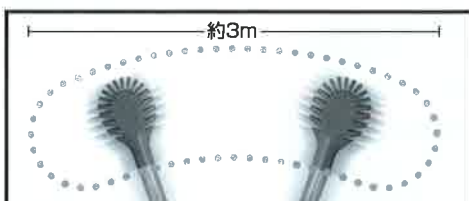


散布量の調整

- ① 調節目盛りが「少」の右側「全閉」の状態になっていることを再度確認してください。
- ② 目盛りリングを回すと弁が開き、すぐに散布可能となります。
- ③ 調節目盛りはストッパー機能も兼ねているので、中断する場合は下向きの拡散部を水平にして「少」の右側を全閉状態にした後、パイプ内に残ったネビリュウ®を散布してください。
- ④ 散布量は調節目盛りと歩くスピードによって変わります。

歩くスピードと調節目盛りについて

- ① 調節目盛りを「2」と「3」の中間に合わせてください。散布幅は約3mです。



- ② 歩幅は約50cmで比較的ゆっくりとした歩行(10mを約20秒)で散布してください。
- ③ 1歩でキングパイプを1回振ってください(2回振ると速過ぎるため、飛びが悪い場合があります)。
- ④ 投入する「ネビリュウ®」の量による吐出量の影響はありません。
※振り方によって左右の散布にムラが出ることもあります。 ※個人差があるので、上記散布方法を基本に調整してください。

△ 注意とお願い

1. 内容量は約28ℓ、構造上では最大25kgの重量(袋投入時約80%)に耐えられるようになっております。それ以上は絶対に投入しないでください。
2. ネビリュウサンパー本体の上に物を載せたり、腰掛などに使用しないでください。
3. ネビリュウサンパーは「ネビリュウ®」専用散布器ですので、その他の薬剤や湿り気のある薬剤の散布には適しません。
4. 「ネビリュウ®」を本体布袋に約25kg(袋投入時約80%)以上投入すると、背負う時にこぼれる恐れがあるので、適正な投入量を守ってください。
5. 散布後の残りの薬剤は、ネビリュウサンパー本体布袋から移し替えて保管してください。
6. 風向きに注意して散布してください。散布時には農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。
7. 湿度50℃以上の場所に置かないでください。樹脂の性質上変形することがあります。
8. 使用後は水でよく洗い、陰干しをしてください。ジャバラの締付部の締付を確認の上、キングパイプ、中間パイプを袋部に収納して保管してください。
9. 「ネビリュウ®」を入れた状態で傾けたり、落下させたりしないでください。

2011年4月作成



三井化学アグロ株式会社

東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
ホームページ <http://www.mitsui-agro.com/>

ネビリュウ専用散布機

ネビリュウ[®] サンパー

簡単に、
しかも均一に散布できる!



キングパイプ

中間パイプ

目盛りリング